

新しい暮らしのヒントを見つけに！

奥会津三島町移住体験ツアー2022

冬 2023年1月14日(土)～16日(月)

～伝統行事サイノカミに参加しよう～



* 三島町のサイノカミは国指定重要無形民俗文化材に指定されています。

伝統行事が今も身近にあるのが三島の暮らしの魅力の一つです。今回は、町内で行われるサイノカミ(関東地方などでは「どんと焼き」と呼ぶでしょうか)に参加します。地元や移住者の方々との関りを通して、三島の雰囲気を感じていただけたらと思います。

ものづくり体験は、マタタビを使ったコーヒードリッパー作りです。山から採取された状態のマタタビをヒゴと呼ばれる材にし、編んでいきます。

そして、今回何よりみなさんに体験していただきたいのが、三島町の雪です。実際の積雪状況がどれくらいなのか、除雪をどのようにするのか実際に目にし、体験していただき、ご自身が雪国で暮らしていけるのか、その判断材料にしていいただければと思います。

【参加費】 15,000 円

(交通費、食事、宿泊、保険代含む)

* 会津若松市もしくは三島町までの往復は、各自で
ご手配ください。

【募集人数】 6名 (最少催行人数1名)

【お申込み締め切り〆切】 **12月23日(金)**

* 応募者多数の場合は、抽選となります。

12月26日(月)以降に、参加可否をご連絡 いたします。

【お申込み】

お申込みの際は、以下の情報をお申込先までお知らせください。

- ①氏名(ふりがな) ②性別 ③年齢(生年月日)
- ④電話番号 ⑤住所 ⑥三島町までの交通手段
- ⑦食物アレルギーの有無
- ⑧参加理由・動機・移住時期など

◇ 旅行企画・実施

(社)全国旅行業協会正会員福島県知事登録旅行業第2-348号

(有)河内屋商店 奥会津観光

〒969-7209

福島県河沼郡柳津町大字細八字堺乙 109-10

総合旅行業務取扱管理者：大森茂樹

◇ お申込み・お問合せ先

三島町役場 地域政策課

〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350

TEL 0241-48-5533

seisaku@town.mishima.fukushima.jp

【宿泊先】 宮下温泉ふるさと荘

【行程】 * 内容は変更になる可能性があります。

日時	行程（奥会津交通利用）	食事
14日 (土)	12:30 会津若松駅集合 もしくは 13:30 生活工芸館集合 マタビのドリッパー作り① 18:00 町内にて交流会	夕
15日 (日)	午前 間方地区で雪国・除雪体験 午後 町内散策など 夜 サイノカミに参加	朝 昼 夕
16日 (月)	午前 マタビのドリッパー作り② 12:00 昼食 13:00 終了、三島町解散 14:00 会津若松駅解散	朝 昼



【服装等】

積雪期になりますので、温かい格好(スノーブーツ、手袋、帽子など)でお越しください。また、サイノカミ作りでは汚れるかもしませんので、汚れても良い服装をご準備ください。



【旅行代金振込先】

取引銀行:会津よつば農業協同組合(金融コード:4160)
柳津(ヤナイツ)支店(支店コード:063)
口座名義:有限会社 河内屋商店 代表取締役 山内拓也
(ユウゲンカイシャ カワウチヤショウテン ダイヒョウトリシマリヤク ヤマウチタクヤ)
口座番号:普通貯金 0018260

受付完了の連絡がございましたら、**1月6日(金)**までにお振込みください。

- * 振込み手数料は誠に申し訳ございませんが、お客様負担でお願いいたします。
- * 参加決定後のキャンセルには、取消料がかかります。

三島町の移住体験ツアー

福島県西部の会津地方、只見川沿いにある山々に囲まれた小さな町。

ここは四季がはっきりと巡り、新緑や紅葉に染まる山々やホタル舞う満点の星空が美しい一方、冬の寒さは厳しく、除雪作業は大変かもしれません。しかし、春は山菜取り、夏から秋は畑仕事、冬はものづくりと、この町の人々は自分たちの手で営む暮らしを楽しんでいます。新しい時代への移行期まただ中、より自分らしい暮らし方を模索されている方も多いのではないのでしょうか。自らの手で暮らしをつくるのが、今後ますます必要になってくるであろう時代、この町は多くの可能性にあふれています。

三島町では、移住を検討されている方に向けて、四季を通して三島町に来ていただき、地元の方々や先輩移住者との交流を通して、三島の暮らしや文化、魅力を感じてもらうツアーを準備しています。四季を通して通うことで、三島の現実を知っていただくことで、移住後のミスマッチを防ぎ、スムーズに新しい暮らしに移行していただきたいと考えています。今後も、移住を検討されている方のご参加を心よりお待ちしております。

